

CHOISIR



VOL. 11

墮胎罪は女子差別撤廃条約に抵触しない!?

あらいぐま

赤松良子が中心になってやっている「国際女性の地位協会」が、日本で初の「女子差別撤廃条約」の解説集をつくるため、月一回、文京区婦人センターで「女子差別撤廃条約セミナー」を開いている。

六月一二日、そのセミナーで第一六条を取り上げるといので、ショワジールのメンバー三人で行ってきた。

第一六条e項は、子どもの数と出産の間隔を女性が決定するということについて書いて書いている。女子差別撤廃条約のなかで、生殖にまつわる女性の自己決定権に関する条項としては、これが唯一のものである。

子どもの数と出産の間隔を女性が決定するためには避妊という手段が必要なのはもちろんだ。けれど、安全で、一〇〇%大丈夫という避妊法がない現状では、女が望まない妊娠をしたときに妊娠の中絶を選択する権利をもち、妊娠の中絶を選択した場合には、そのために安全な医療を受ける権利も確保されなければならないと私達は考えている。この一六条はそのことをうたったものだと思う。いたので、日本の墮胎罪の規定は、女が妊娠中絶をするために必要で安全な医療を受ける権利を阻害している法律であり、この条項に抵触しているものとして当然問

題になるだろうと、とても期待していた。

けれどセミナーが始まり、もらった資料を見ると、婚姻と家族の問題に触れているだけで、生殖にまつわる女性の自己決定権のことは書かれていないので、目が点になってしまった。まさか全くその問題を無視した訳ではないだろうと思い、第一六条のレポーターの報告を耳をすましてよく聞いたが、見事に一言も触れなかった。

ほとんど絶句してしまった私達は、休憩のあと気を取り直し、「墮胎罪は第一六条に抵触しているから、条約批准にあたっての法整備の対象となるのでは？」と質問した。そのときの反応に、私達は再度絶句してしまった。

「えっ？質問の意味がよくわからないのですが」と、レポーターの法学の教授が聞き返したのは、まだ許せる。しかし、驚いたことに、参加者の一人から「胎児の人権をどう考えているのか」という反論が出て、参加者のほとんどがそれに同意し、さらに赤松良子まで「アメリカでは胎児の人権についての論議も高まっていますね」と「胎児の人権の大切さ」に簡単に同意してくれちゃったのである。

「えー！ 女性の人権を守るためにこのセミナーやっ

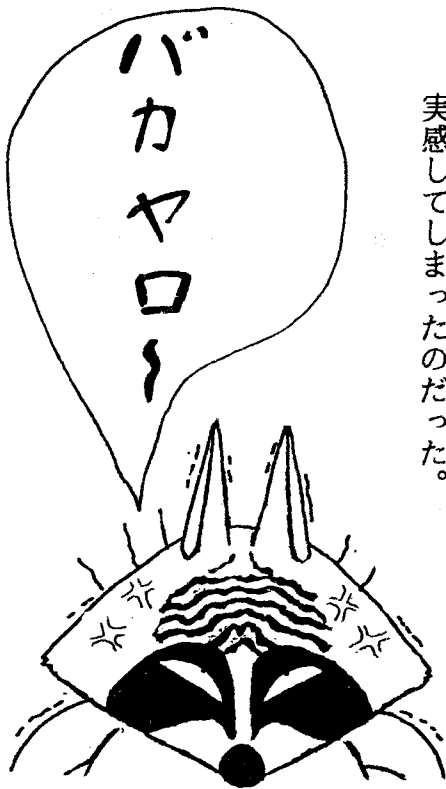
てんじゃないのー!」と、叫びたくなってしまいつつ、必死に反論を試みた。妊娠中絶が禁止されていたルーマニアでは、それでも中絶をしようとした女たちが何万人もヤミ中絶で命をおとしていること。一〇〇%確実な避妊法がないなかで、安全な医療としての妊娠中絶を妨げる堕胎罪の存在は、女性の人権をそこなうものであること。

しかし、同調してくれる参加者はいなかった。揚げ句の果てには、「男に堕ろせと言われたとき、堕胎罪があるから中絶しないと行って堕ろさないですむから、堕胎罪は女性の人権を守っているといえる」という発言まででた。それならば、どうしてルーマニアの女たちは死ななければならなかったのだろう。女が自分のわがままから死を賭けたヤミ中絶や自己流の危険な妊娠中絶に走った、とでもいうのだろうか。男の協力が無い、あるいは妊娠が祝福されない、親に勘当されるのが怖い、子どもをかかえて生きていくだけの生活力がないなど、よっぽどのことがなければ女は死を賭けた中絶などしないだろう。堕ろさずにすまされないから妊娠中絶を選ぶというのに、そのための安全な医療を受けられなくしておくことが女性の人権を守ることだというのだろうか。

「日本は優生保護法で中絶できるようになっている」という発言もあった。じゃあ、優生保護法がいままで何度も改悪されてきていて、そのうち遺伝性の病気などの理由以外では中絶できないようにさせられてしまうかも

しれない状況にあることを、どう考えるのだろう。堕胎罪はそこにあるかぎり、いつだって効力を発揮することが可能になってるではないか。

「堕胎罪は女だけを罰して、その妊娠のもう一方の当事者の男を罰していないという差別性はある。刑法の不平等を正すべきだと規定している女子差別撤廃条約の第二条に照らし合わせて、堕胎罪を問題にすればいい」ということに最終的に落ち着いて、討議は別の問題に移ってしまった。刑罰の不平等を是正して、男も女も堕胎罪に問われるように改悪される恐れは考えないのだろうか。生殖に関する女の自己決定権は第一六条でしか語れないものだ。そう考え発言してくれる参加者が私達のほかにいなかったことは、とても悲しかった。「地位だけ向上したって、そんなことは本当の平等じゃない」と実感してしまったのだ。



the next ...
held back in order
delays in finishing
projects, more atten-

nakes it official

BOURG, France
- Local government
om Wales Wednes-
red the British pro-

: first
the 10
omic
ation f
uncils

failed
January 1981.

In a break with pre-
no overall figure for industrial

The radio said politburo
member Maxime Gremetz,
leading a French Communist

The Sov...
ways pointed to

いっしょにつくろうよ

「女の権利宣言」

... for U.S. servicemen
missing in action from the
Vietnam War, Senator S.I.
... said Tuesday.
the Senate

... have been in the wor-
enough to know most of the
trades. I am writing to you
body should say it. The lev-
among salespeople these day
cord low.

...plies for this 1

『CHOISIR』9号でお知らせしましたが、「女^めのからだから'82
優生保護法改悪阻止連絡会」と「CHOISIR」及び有志数名で、「性
と生殖に関する女の権利宣言」を考えてきました。

先日、ようやく案ができたので、ここに掲載します。

これは、あくまでも案なので、皆様の意見を募ります。「ここはこうし
た方がいいのでは?」「こういうことも入れて欲しい」といった意見を、
どんどん寄せてください。また、I~IXまで番号がふってありますが、こ
の順番も仮のもので、これを先にもってきた方がいい」という
意見をあわせて聞かせてください。

できるだけ、女たちが集まる集会の場で案を配り、広く意見を聞きたい
と考えています。また、この権利宣言ができた暁には、集会をやろうとい
う話も出ています。それについても、考えのある方、ぜひ聞かせて欲しい
です。

期日はとくに設けていませんが、ご意見はCHOISIRまでお寄せく
ださい。たくさんのご意見をお待ちしています。

CHOISIR

☎167 東京都杉並区天沼3-6-29-101

色川奈緒気付

性と生殖に関する女性の権利宣言（案）

女性は、妊娠・出産・授乳といった生命再生産の機能をもつ性です。その機能が人口の増減など社会的意味を有するため、女性のからだ、ひいては女性の生き方までが、社会的な制約と管理の下におかれがちです。

しかし、私たちは、女性のからだは生命再生産を第一の目的として存在しているのではなく、女自身のものであって、女自身が納得のいく人生をおくるために尊重されなければならないと考えます。

そのために、すべての女性に対して、国籍、人種、家柄、年齢、結婚しているか否か、障害の有無にかかわらず、以下のことが保障されるべきです。

- I. 子どもを産むか産まないか、産むならばいつ何人産むかを自ら決定し、だれからも強制を受けない。また、そのことによって、差別や不利益を受けない。
- II. 自分のからだを管理するうえで、避妊・中絶・妊娠・病気の治療などについて、必要な情報と方法を得ることができる。
- III. 望まない妊娠をした場合、安全かつ適切な方法で妊娠を中絶することができる。このことについて、法的・社会的制裁を受けない。
- IV. 子どもを産めないという理由で差別や不利益を受けない。
- V. 生まれた子どもの性別、障害の有無で、差別や不利益を受けない。
- VI. 性のパートナーの有無、その性別によって、差別や不利益を受けない。
- VII. 不妊手術は他者から強制されない。
- VIII. 女のからだを部品化し、実験材料にし、商品化する、あらゆる生殖技術を拒否する。
- IX. 性差別・優生思想にもとづき、胎児を選別する目的で行われる医療行為を拒否する。

米で「人工中絶論争」沸騰

最高裁判事に保守派黒人指名

女性団体、教員ら 抗議の声、次々に

【ニューヨークの自由新聞】保守派の黒人の
ジョージ・トマス氏が最高裁判事に指名された米
国で、女性運動、市民運動、さらには教員を軸
と込んだ人工中絶(アボーション)論争がこれに
沸騰している。とりわけ中絶の是非論は、目
立った争点で最前たる人工中絶の大統領選挙で特異
な位置を占めることにもなりかねない勢いだ。

大統領選、争点にも

「人工中絶は否か、選
び取るべき」というト
マス氏の指名(民主党は議
会の承認が必要)に真っ先
に反応したのは米女性
機構(NOW)。大目にニ
ーヨークで開催した総会
で、就任宣誓を拒否し、無
会では「議会に圧力をかけ
ろ」と訴えた。

この経緯は、ト
マス氏の政治的家族計画を担
当している連邦関係の参院
所に於いて「中絶に関する相
談」を中止するよう通告し
た。NOWを皮切りに、
さまざまな団体が「中絶を
口にする以上、中絶に反対
する」として、中絶反対。その
直後、区中絶反対を連署し
た。このように、トマス氏
の最高裁判事の承認の目途
トマス氏指名と密接に、中
絶反対派を刺激したのだ。

3日、トマス氏に就任宣誓
を拒否した米女性機構
の代表者、トマス氏
氏(左)＝AP

人工中絶問題は、貧困問
題とも表裏一体。このため
黒人社会だけでなく、一般
に人口が増えているアフリ
カ系米市民団体もト
マス氏阻止を誓った。
「今月七日、アフリ

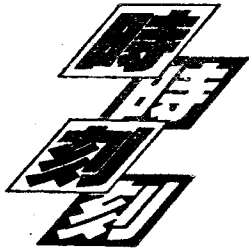


「中絶反対の米最大の教員
組合」全米教員協会(NE
A)総会が「中絶反対派」
の全米教員が、この中絶
やアボーションを中絶に反対し
た。前日には、人工中絶
反対の人工中絶反対派が、
反対派が中絶反対を取り囲み
警官と衝突、逮捕者が出
ている。

母体の健康、胎児の人権、
個人の尊厳、宗教・倫理、
貧困、社会保険制度……と
人工中絶は多くの分野で論
議が繰り返され、選挙の
行方を左右する重要な
団体、市民グループが政治
活動を展開している。

選挙戦争勝利で一時は反
対派の勢力を弱めたトマス
氏大統領(共和党)も主張
している候補者が最前たる
人工中絶反対、中絶問題の
「トマス氏に反対して」

動き返すを迫ることは必至
とみられる。同時に、行わ
れる人工中絶反対派でも
争点の一つになる。その
相争いは、選挙結果に大きく
影響する米議会のトマス氏
の承認問題だ。



刻々、増え続ける人口を刻む「警鐘板」が北京の繁華街、崇文門交差点にできた。中国共産党創立七十周年を迎えた一日正午の人口を、この電光掲示板は「十二億五千二百八十七万三千八百七十六人」とはじき出した。急ピツで膨れ上がる人口に中国は非常事態を宣言。現在、一・四四％の自然増加率(出生率から死亡率を差し引いた数字)を九〇年代は一・二五％以内に抑え込む作戦に乗り出した。人口の八割を占め、カギを握る農村をのぞいた。

(文・写真 北京〓堀江 義人)



中国 人口抑制へ非常事態宣言 村には避妊者一覽表

中国文明の発祥地河南省の人口は八二年、山東省を抜いて四川省に次ぐ第二位となった。全国平均を上回る速度で増え続け、現在八

年の目標を九千七百万人、自然増加率を全国目標より厳しい一・一七％に抑えることを決めた。

殷墟に近い鶴壁市の農業を営む村に、避妊者一覽表が貼られた。Aさん(四二)は二年前、第四子を産み、借金して罰金八千元(二元約二十七円)を払った。一人当たり平均年取は四百元だから家に二、十年分。長女、次女、長男と生まれながら避妊に失がちな避妊リングの女性三、十六人は「避妊対象」として北宋の都として当時、世界一の人口百万人を数えた開封は今も、人口と急増苦闘している。米国の雑誌が中国の人口クイズを考案出した。すべて中国人が四人一列になつて、一・八秒の間隔をあけて、時速約六秒の速度で天安門を行進したとする。十一億人が歩き始めるのに、いくらかかるか。

答えは十年間。が、厳密には正確と言えない。その間に子供が生まれるからだ。赤ん坊を含め、全員が行進を終えるのにさらに二十九日間。また、その間に子供は生まれ続ける。

子供4人 借金し罰金払う

手術推進 ニセ証明書横行

千六百四十九万人。国民総生産全国六位なのに一人当たりでは二十位以下に落ち込む「貧乏省」。二〇〇〇一人っ子政策を呼びかけるスローガン。この男の子は実母二人目で、父親は六百元の罰金を払った。

〓河南省安陽市で、市西區投村(百八十戸)で、二カ月に一度妊娠検査、三カ月に一度リング検査が義務づけられる。

「男の子をほしがると女の子だけの家庭を認めず、第二子を申請できる。これに様々な条件がついているのだが、農村部では事実上、二人っ子政策」がまかり通っている。

開封鎮大寺村(五百六十八戸)では既婚女性三百九十八人のうち一人っ子は三十八人、特に「もう産まない」と宣言した女性はいわずか二十七人、三百二十人が複数の子持ちだった。

「生存と発展」と題した中国科学院の最新レポートは中国の人口が二〇〇〇年に十三億人を突破、二〇二〇年代には少なくとも十五億人、少し緩めると十七億人に達する恐れあり、と警告する。

集会レポート

7月8日、阿佐ヶ谷地域区民センターで、「とんでもない！非嫡出子の相続差別」という集会にいった。『出生差別の法改正を求める女たちの会』と『子どもの人権を考える会』との共催。25名ほどのこじんまりとした集会だったが、いろいろ考えさせられる事の多い、私にとってはとても有意義な時間だった。

この日は、非嫡出子の遺産相続上の差別を裁判であらそっている山田満枝さんの報告と、裁判の弁護団の榊原富士子さんのお話があった。

彼女は現在「特別抗告」の形で最高裁に申し立てをしている。祖母の遺産相続にあたり、山田さんの父が祖母の『非嫡出子』であつたために、代襲相続（山田さんの父親は祖母の死去以前に亡くなっている）、その子である山田さんが故人に代わって相続人となる。民法第886、887条）する彼女の相続分が民法第900条の規定に基づき他の相続人の二分の一となってしまうことは、憲法第13条、14条にいう「法の下平等」「個人の尊厳」に抵触するのではないか、というのがこの申し立ての趣旨だ。彼女、報告は、女を「家」の従属物としてみなしていた旧民法下で「家」に翻弄されズタズタにされてしまった祖母

の生き様を中心にした、胸に迫るものだった。祖母は、戸主である父親に戸主の後継の婿養子選びのため4回も試婚させられている。そしてその内の2名と婚姻関係を結んでいる。法律上の婚姻関係ではなかった男性との間に生まれたのが山田さんの父親だった。彼は婚姻外の子として生まれるとまもなく他家へ里子にだされ、今度はその家の都合で、戸籍上の扱いも、彼自身に対する扱いも一方的に変えられ、冷遇されることになる。

「家」のために結婚させられ子供を産み、「自分一人で入る墓が欲しい。家の墓に入りたくない」といい続けているという彼女の祖母と、「家」の都合で、同じ女性の子供にもかかわらず差別され続け、死んだあとも差別される父親を知ったとき山田さんは裁判を決意したという。「家」という制度の持つおどろおどろした闇が、彼女の話をとおして実感される。そして現行民法下でなお900条が温存されてきたという事実が私たちに沢山の事をつきつける。

「（日本）人の身分関係を公証するもの」という名目で戸籍は、今もなお「内」にあつては、出身・社会的身分等による差別（部落差別・婚外子差別）を、「外」に対しては「戸籍」をもたないという理由で、在日外国人（とくに在日朝鮮人・中国人）にたいする差別を正当化してきている。それはまた民法や住民票等と連動して「戸籍制度」として差別を再生産し、身分関係・出身・その他で人を分断し管理するためにこそ機能する。だからこそ、『住民票の続柄は戸籍上のそれに対応して記載されなければならない

(非嫡出子を「子」と記載されなければならない)。なぜなら非嫡出子と嫡出子とでその扱いが異なるからで、その根拠となるのが民法900条四号但し書きである」という論理となる。

質疑応答やその後の意見交換のなかで、いくつかはとさせられることがあった。ひとつは、この会のメンバーたちのそれぞれの「訣婚」の多様さ。婚姻届を出さずに、子供はパートナーに認知させている人、認知させていない人、子供の戸籍も、住民票も作っていない人、戸籍はつくらずに住民票だけ作った人 etc. . . . 頭ではいろんなやり方がありうるんだというのは分かっていたけれど、とにかく、その多様さは、それだけで「戸籍制度」というものが人をどれだけ分別して管理しているかを示していると思えた。これは、在日が、「在留資格」「在留期間」によって、分断させられてきたのとまったく同じことだ。

もうひとつは、個人的なことですが・と、自分の相談をぶつけた若い女性のこと。自分が「婚外子」だと最近気付いたという彼女は、自分が在日朝鮮人と「結婚」した場合の記載のされ方について、あるいは子供の記載のされ方について、熱心に尋ねていた。「自分が辛かった分、子供にはそんな目には会わせたくない」という彼女にたいしてどのような言葉で、いかに答えていくか。婚外子差別と民族差別がリンクする彼女のような問いはそのまま、今後の彼女たちの運動の力量を問うことであると思えたし、他の運動(この場合、在日の運動)との交流・連携の必要性を痛

感させるものだった。

いままで、「婚外子」差別にたいしてあまり積極的になれなかったのは、自分の子供は産むまい、と(今のところ)決めているのと、排他的な「対」関係にたいして「？」を持ち始めていたからだだったけれど、だからやらないというのは違うなと思う始めている。「戸籍制度」を拒否し壊していくために私自身やれることは沢山あると思う。しかし、それだけではなく、ともすると個々人の「生き方」に還元されやすい「戸籍制度」にたいする闘いを、個々人の「生き方」を超え、分断を超える運動としてどのようにつくっていくかが、これからの課題だろうなと思う私だった。(ひ)

第二節 相統分

第九〇〇条「法定相統分」同順位の相統人が数人あるときは、その相統分は、左の規定に従う。

四 子、直系尊属又は兄弟姉妹が数人あるときは、各自の相統分は、相等的なものとする。但し、嫡出でない子の相統分は、嫡出である子の相統分の二分の一とし、父母の一方のみを同じくする兄弟姉妹の相統分は、父母の双方を同じくする兄弟姉妹の相統分の二分の一とする。(昭和三七法四〇本号改正)

民法 900条

「非嫡出子の遺産差別やめて」

都内の女性が特別抗告 最高裁

「正式な夫婦の子供(嫡出子)かどうかで遺産の相続分を差別するのは不当」との訴えを東京高裁で棄却された東京都内の女性が、同高裁の決定は憲法一四条の法の下に平等などに違反するとして、十二日までに申し立てたのは、新宿区の会社員A子さん(四三)。

護団によると、昭和六十三年五月にAさんの祖母が死亡。Aさんの父親(故人)が祖母の非嫡出子だったため、その遺産相続をめぐる静岡家裁熱海出張所は、昨年十二月、非嫡出子の相続分を定めた民法九〇条四項ただし書きの規定に沿った決定をした。

Aさんはこのただし書き自体の違憲性を争っていたが、同出張所は、昭和五十七年七月に法務省が提出した民法改正提案が国会で見送られたことを理由に「申立人の希望に沿うことはできない」と判断。Aさんは東京高裁に即時抗告したが、同高裁も先月二十九日、原審の決定を支持する決定を下した。

— 1990年12月12日 静岡家裁での判決から。理由の2 はっあい。 —

世論は「嫡出子」と「非嫡出子」との間に差別あり当然 という判断なんだから、しょうがないでしょ? たった。なんつ、正直なのさ!?! 司法側にはこれほらちも主体がないて言えるようなもの。

2 遺産の範囲、状況、当事者の意見等

被相続人田畑まさをの遺産は、別紙物件目録記載の不動産であって、その現況は未使用のままであり、特別受益及び寄与分については、当事者から特に具体的な主張はなされていない。申立人を除く当事者は概ね法定相続分による遺産分割を希望している。

ところで、本件の申立は、民法において嫡出でない子の法定相続分が嫡出である子の法定相続分の半分になっているのは法の下に平等に反するので両者について均分の割合による遺産分割を求めるというものであるが、法定相続分の割合を如何に定めるかはその国の立法政策の問題であって、しかも昭和54年7月に法務省民事局参事官室が公表した「相続に関する民法改正要綱試案」において、嫡出でない子の法定相続分を嫡出である子の法定相続分と同等化する旨の提案をし各界の意見を求めた結果、同等化に反対する者の数が賛成する者よりもかなり上回った等の事情から、国会において審議の末に改正が見送りとなった経過に照らしてみても、現行法の許において、申立人の希望に沿ってその共有持分を18分の1とすることはできないと言わざるを得ない。

3 以上の次第であって、その他本件記録に顯れた一切の事情を考慮し、主文のとおり審判する。

平成2年12月/2日

静岡家庭裁判所熱海出張所

家事審判官

伊

藤

治



左が蔵本育美さん（読売新聞大阪本社提供）

蔵本育美さんは、一九八九年三月、女に六カ月間の再婚禁止期間を設けている民法七三三条は、性別による差別を禁止し、法の下の平等を定めた憲法（四條等）に違反したものであるとして、広島地方裁判所に提訴。一九九一年一月「憲法一四條は男女の差の異なることまで禁止したものではない、父子関係を明確にすることは国家の重要な政策である……」ことなどの理由で敗訴の判決を受けた。自身の体験の中から民法、戸籍法を告発する蔵本さんの手記。

女の離婚、再婚を嫌う社会風潮の中、法律上の離婚と同時に事実上の再婚をしたこと世間の中傷は想像以上にいろいろあった。女の再婚が六カ月間禁止されているのに、事実上の再婚をしていることは、法律に違反した者として扱われた。蔵本と子どもの養子縁組を裁判所は認めない。蔵本を世帯主とした住民票の続柄も、私と子どもは「妻」「養子」ではなく、「同居人」としか扱われない。養子は法律上、妻子と同等の社会的身分および権利が与えられ、法の保護を受けられるが、同居人には何ら保護はない。私たち親子は社会通念的にも法律の上においても不当な者として扱われた。

7/12 ふみん

女だけ、六ヶ月の再婚禁止 合理性あり、と差別認める判決 広島

連絡先

があっても認められない。また女のみ六カ月間再婚ができないこと、男は離婚と同時に再婚できるという二重になる。そんな素朴な疑問から民法七三三条は女に対する差別であると思つた。法律は産む性をもつ女には、六カ月間の再婚禁止期間を設け、産む性をもたない男には離婚と同時に再婚のできる権利を与えている。

私と蔵本は、家父長制の思想を引きずり続ける明治の時代に与えられた民法改正を求めるため、プライバシーをくだけ出し、司法に訴えた。公務員のくせに、法のあるを探して国から百万円もむしり取るくでなし……。自分のふしだらさを棚に上げて恥というものを知らんか……。司法の壁と地域のがらみの中で、私と蔵本の二人三脚の闘いは「死にたい」と弱音を吐き、子どもに「信念をもて、信念をもては必ず裁判に勝てる」と叱られたこともあった。

そして今、家父長制を残す民法・戸籍法の総見直しを求める多くの人たちからの、熱い支援と共に、生きる証として勝訴を目ざして闘っていきま

広島県竹原市竹原町
一五八―四 蔵本育美
☎08462(2)0
527

みなさん、これ、どう読みます？

たしかに民法733条は女性差別。「でも、元々は『結婚したいのかね—!?』と、この裁判に対しては、言いたい人も少ないのでは。

「社会通念的にも法律の上においても不当な者として扱われた」という蔵本さんの言葉のうらには、「私は本来ならば、不当な扱いを受ける『ふしだらな女』じゃない！」という気持ちが見えかくれしているように思えてしまう。

「でも、彼女も女性差別に対するたたかいをやっているのよ！」

と支援する論理はあるのだろうか。ちょっと待て。

女は男と「平等」になればいいんだらうか？ 本当にそれだけですべては解決するのしら？ 彼女の言う「家父長制」と何なのしら？ とか。思っていること、もっともっと出して、ぶつけ合、てみようよ。「批判的に支援する」ってことも可能だと思うし、どうでないと何も生まれないよ。私は今度彼女に半信してみようと思う。

あわび……

「出会い直していくために—フェミニズム試論」はまだ終わっていないので、本人の一方的な都合で書いてるんじゃない。今度また書いて見捨てないでください。……（たかまつ）

産まない自由と女の生き方

色川奈緒

先日、出産したばかりの妹の子どもを見るために、叔父・叔母が母の家に遊びに来た。たまたまそこに居合わせた私は、叔父・叔母のために食事の用意や片付けなどに忙しくしていた。そのこと自体、少しもイヤがるようなことではないはずなのに、私はイヤだった。「女だから忙しく立ち働いていて当然だ」と考えられているのがアリアリとしていたから、不快だったのだ。

当然のように、話は生まれて一月ほどの子どものことに集中していた。「奈緒ちゃんも、もう叔母さんだね」という言葉にさえ裏があるのではないかと思ってしまう。そもそもの妹が結婚したときに「先に行かれてしまったね」とのたまった親戚だから、私は彼らに何の希望も見いだしてはいない。

祖母は「授かりものだというけれど、本当にそうだよねえ」としきりにつぶやいている。グッタリ眠っているかミルク飲めるかウンコしてるだけの赤ん坊を前にして、「本当にいい子だよ」もないものだと思うけれど、祖母は人の話を理解することもままならない状態になってしまっているの、何も言わないでおいた。

叔母は「女は、結婚して子どもを産むときれいになる

のよ」などと妹に言っている。結婚・出産・育児を楽しいと思っていて充実しているのなら、その人はきれいになると思うよ。仕事や趣味など他のことできれいになる人がたくさんいるのと同じように。

イヤな予感的中して、そのうち、叔母・叔父の子どもである29歳のいとこの話になった。「うちのが、まだ行かないのよねえ」。ずいぶん言い方ではないか。そのいとこは、20代前半はずっと結婚したくてたまらなかったのだけれど、これと思う人がいなかったから、仕事を続けていく決意をして、目下ワープロの資格をとるために努力しているという。そんな女性に対して、「まだ行かない」だなんて悲しすぎる。

でも、いちいち怒ってもしかたがないと思って、私は何も言わなかった。きちんと話すのが面倒になってしまふことがある。それは本当はよくないとは思っているけれど、話してどれほどのことがあるだろうかと思ってしまうことはあるし、そがれていく自分を抱えこみたくないときってあるでしょ？ それに、何か言ったとしても、「お前はいいいちうるさいね」と怒られてしまうのがオチだったりするのだ。あるいは、とくとくといかに結婚する

ことが大切であるかを諭されてしまふとか。親戚に会うと、だいたいいつもこんな感じなので、「奈緒ちゃんは、顔つきが厳しくなった」と言われている。怖いなら「怖い」とはっきり言えばいいのに、「顔つきが厳しくなった」とはふるっているやね。とにかく、そのときは、怒っても仕方がないと思い、できる限り感情を抑えていた。すると、叔父が「奈緒ちゃん、彼は？」ときた。いきなりの攻撃である。あやうく、ビールが気管腔に入るところだったよ。あーあ、もうー！ 仕方ないから、「いやあ、私に合うほどのイイ男がいなくてねー。仕事が楽しいから、それでいいんです」とニッコリしてみた。

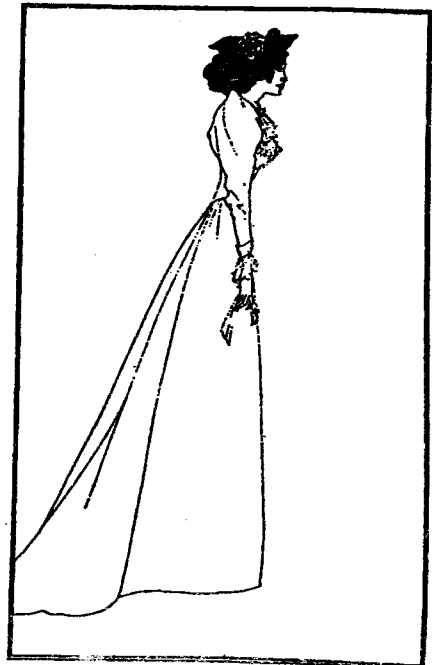
しかし、「しまったら〜」である。無理をしていると思われた。「それでいいんです」がいけなかったらしい。これだからイヤなのだ。まあ、いいや。めったに会う人でもないし。

母がハラハラしてる。「同居していることを言うのではないか、まさかそこまでは言うまい、でも何かまた余計なことを言うかも知れない」とオロオロしているのが、顔に出ている。それを防ぐために、「最近、女の人だって、仕事に生きる人も多くなってきたものね。充実していれば、それでいいのよね」と言う。突然分かったようなこと言うんだから、ヘンな人だね、私の母も。

そんな母は、私の事実婚（この言葉、やっぱりいいちだよなあ。もっといい言葉はないのかね）を渋々なが

らも認めざるを得なくなったところに、「子どもだけは生んでダメだよ」と言った。

「どうして？」と聞くと、「あなたは前から女性解放を言ってる、自分で考えて勝手にそういう生き方を選んだからいいけれど、子どもは差別されるのよ。自分で決めた生き方でもないのに、私生児だと言っているのよ。差別するのよ。かわいそうだと思うの？」と言う。「差別するほうがおかしいんじゃないか。子どもには何も責任がないと思うなら、いじめなければいいでしょう」と言ったら、「そうは言ったって、いじめられる現実があるのは、あなたも分かっているんじゃないか。」「だけど、おかしいことに対して黙って引き下がっているだけじゃ、いつまでたっても、おかしいことは変わらないよ？」と言うと、「すぐ、そうやって、へ理屈をこねるんだから」



と言いつ出した。困るとすぐこれである。相手がぜんぜん関係ないところでこっちを引きずり落としにかかったら、痛いところを突くことができた証拠である。

結局、「とにかく、ダメですからね！」の一点張り。

「いいよ、別に欲しくないし」と言ったら、「それ！その、子どもが好きじゃないってことも、人前で言うんじゃないのよ！いい気分しないんだから」。

誰が子どもを嫌いだと言ったの？「別に欲しくない」ということを、「嫌いだからなんだ」と勝手に考えて、理由を見つけたつもりで安心しないで欲しいよなあ。

普段の生活では、結婚・出産の束縛から自由な女たちばかりと付き合っているのに、イヤな思いをしないで済んでいる。だけど、たまにそれ以外の付き合いに触れると、クラーイ気持ちにさせられる。まだまだ世の中は女に結婚も出産も強要するものなんだと、しみじみ思われる。現実認識が甘くなっているのはマズイと思うけど、人があーだこーだ言わなければ、もっとみんなラクになれるのって、本当にそう思うよ。人にあれこれ言われなければ、本当に自分がしたいことを見付ける以外に生きていく方法なんて、ないんだものね。

7月13日に、婦人問題懇話会が「産む・産まない・産めない」で集会を開いた。最初のパネラー（駒野暢子さん・吉廣紀代子さん）の話は、とくに新しい発見はなかったけれど、まあまあ良かった。そのあと、参加者含め

でのディスカッションの場になったとき、29歳の女性が泣きながら、「私は産まないということを決めているんだけれども、30〜35歳までずっと悩み続けると思うんです。そして、35歳を過ぎても、産んでおけば良かったと後悔しないかどうか不安なんです。」と言った。

35歳というのは、厚生省が勝手に言っている高齢出産の限界年齢である。泣いているのにも驚いたが、続きはこうである。

「私は何の取りえもないし、平凡な女なんですけれども、主人の健康管理に24時間気を使っているです。それでも世の中では怠け者だと言われてしまうんです。働いていなくて、子どもいないと、評価されないんです。するとなんか何もないはずなのにと、お姑さんが……」。

この発言にグツタリ疲れてしまったのに、司会者が、「みなさん、この方を助けて差し上げたいとお思いでしょう？ さあ、発言してください」と言ったので、目眩もピークだった。こともあろうに、「私は36歳ですが、後悔なんてしていません」と仕事をバリバリやっている人が言ってみたり、「仕事をしていたからと言って、評価されるわけではない。女は何をしても評価されない」と言う人がいたり、もっとおかしいのは、「突き付ける相手（夫）がいるだけいいじゃないの」という発言があったり、とにかく「励まし」のつもりらしい言葉がいくつか彼女に向けられた。ジョーダンじゃない、やってられないや、と私と友人は会場を出てしまった。

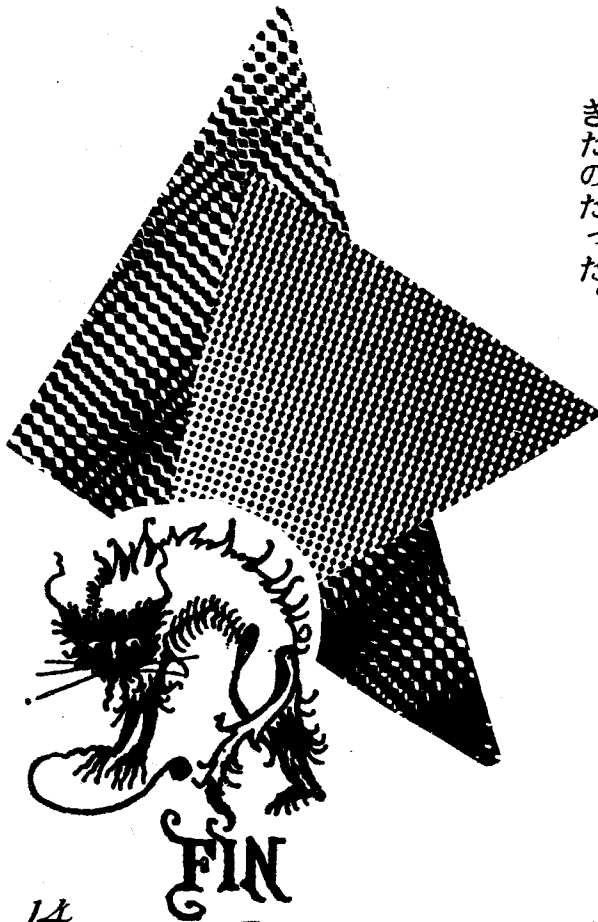
「産まないとはっきり決めている」と言いながらも、「後悔するのではないか」と今から一生分の心配をしているなんて、それは「はっきり決めている」とは言えないじゃない？　そういうのは「迷っている」と言うのよね。そりゃ、一生迷っている人は多いかもしれないし、それを責めるのは違うけれど、「主人の健康管理に24時間間を費やしている」と言い切り、本当にそれが素晴らしいことだと思っているのなら、何も泣く必要はないわけですよ。本当は自分でもどこかで、くだらないことだと思っているから、困っているんだよね。「主人」と「何の取りえもない平凡な女」という言い方が、それを表しているよ。

彼女自身が、自分をぜんぜん信用していないし、自分のことを大事にしていなくて、その上に、「私はこうやって、いつも人に頼ってしまうんです。すみません」とヨヨと泣き崩れていること自体、イライラしてきちゃったんだけど、会場の人たちにはもっと頭にきてしまった。自分の経験なんていくら話しても彼女のような人には何の得にもならないし、一般論を言ったって、やっぱり役に立たない。「自分の本当に望んでいることを、もう一度きちんと見詰めなさい」ということしかできないでしょ。それ以上の助言なんて無理だし、第一、「助けてあげましょう」「大丈夫ですよ」と言うことほど、無責任で残酷なことはない。「大丈夫」だなんて、よく言えるよなあ。他人の人生に責任なんて取れないのに。

産む・産まないなんて、本来は議論することではないと思う。産みたいときは産む、産まないときは産まないのだから。

とは言っても、現在の状況では、議論されるのはいいことだ。「産む権利と産まない自由は二律背反だ」と駒野さんが言っていたけれど、どっちかが通るとどっちかが潰されてしまう不安があるから。とくに、産む権利がこのまま尊重されていて、産まない自由は「社会に貢献しない」とか「遊びたい女のエゴだ」とか言われてしまふのは、絶対に避けなくてはならない。そのためには、今のうちにきちんと議論して、産まない自由を本当に確立させて、女のための法律をつくる必要がある。

あんまりうれしくない集会だったけど、やる気がでてきたのだった。



仕事をやめて

子育てしては

千葉市 和田 麻理

(主婦 28歳)

私は一歳半の長女がお
り、今、二人目を考えてい
る。出生率の低下につい
て、さまざまな女性の意見

が述べられているが、私た
ちの世代は概して甘やかさ
れて育っているから、独身
時代や子供が生まれる前の
自由な生活から離れ、子育て
に苦勞するのが嫌なのだ
と思う。

母や祖母たちの時代に比
べ、私たちは経済的にも制
度的にも恵まれている。た
が、昔の女性は「子供はい
らない」などと考えたたろ
うか。

私は、学生のころから、
子供ができたなら仕事はやめ
ようと考え、その通りにし
た。仕事は、やりがいもあ
り、給料も悪くなかった
が、やめることに継続はな
かった。

確かに、何も考えずに使

えるお金も、自分の時間も
激減したが、これを犠牲と
は考えていない。子育て
は、私を根気強く、たくま
しく成長させている。そし
て今は、自分自身の将来の
ために、自分の幅を広げる
貴重な充電期間だと思っ
ている。

子供を産まなくなつた同
世代の皆さん、子育ては
「楽しい苦勞」であり、自
分を見つめる、とてもいい
機会でもあります。多くの
経験をし、広い世界を知っ
ているその力を、どうぞ
子育てにも向けてくださ
い。

産む産まぬの
議論をもっと

産む産まぬの 議論をもっと

東京都 稲妻地 真理子

(主婦 31歳)

八千六百円の領収証。初
めてのわが子の貸しおむつ
代一カ月分だ。独身で働い
ていたころ一カ月の美容院
代は、これより多かった。
そうやってきれいにしてい
ても、あのころは何か寂し

かったな、などと考えてい
たら、「赤ちゃん、また減
る」の七日付本紙の見出し
が目に入った。

将来が不安で 産めない現実

前橋市 戸村 昌美

(主婦 27歳)

十八日付本欄、和田麻理
さんの「仕事をやめて子育
てしては」のご意見に少な
く反論させてほしい。まず、
昔の女たちが苦しい経済状
態でも子供はいらないとは
考えなかった、という点に
は疑問がある。

彼女たちは、そもそも産
まない選択をすることが許
されなかった。避妊方法も
発達しておらず「嫁して三
年、子なきは去れ」のこと
ばが示す通り、出産が女の
最大の存在理由であった時
代に産まないと言言して生
きるなどできなかったのだ
ろう。

いまの日本女性は、自分
の意思で産む産まないの選
択ができる。そこで、な
ぜ、こんなにも産まない選
択をする女性が増えたのだ
ろうか。

社会的な仕事にはかり目

を向け、子育ての苦勞を解
決しそらないし、地
う私たちの世代の母はも一
球の規模では、環境破壊や
因かもしれないが、もっと
大きな理由がほかにあると
思ふ。今、生まれる子の将
来を考えた時、明るいこと
は、たくさん産んで伸び仲
はかりは浮かばない。
住宅、教育問題はなかなか
けれども。

浦和市 中沢 久美子

(主婦 27歳)

不安定な環境の中でも、
二十二日付本欄、「将来
が不安で「子供が、産めな
い現実」とおっしゃる戸村
昌美さん、私は三人の子育
てのまっ盛りです。狭いア
パート暮らしで、教師をし
ている夫は、
最近の教育現
場の荒廃ぶり
に悪戦苦闘し
ています。

子育ては創造 やりくり充実

りによりりして生計をた
てている今の方が、はるか
に充実しています。

子育ては人間を創造する
仕事、世の中が乾きつつあ
るなら、世の中に潤いを与
える人間に育ってほしい。
考へも、また受け身だと思
うのです。そこには自分や
将来、子供自身が社会に働
きかける行動が、忘れられ
ています。

今月の

スットコドッコイ

新シリーズ

これを知らなければ
部長失格!

SIMULATION REPORT

少産時代のビジネス・シミュレーション

21世紀の日本産業構造を揺さぶる

1.53

ショック

「1.53」という数字が、日本中を震動させている。高度経済成長期から低下した合計特殊出生率（女性が生涯に産む子供の数）が、今年、ついに1.53まで下がったのだ。空前の平成憂鬱が襲われれば、老人ばかりで子供のいない高齢地のような日本がやってくる。そんな「少産時代」を生きぬくために、企業はどうすればよいのか? 竹内宏氏の提言とともに、各分野別のビジネス戦略をレポートする。

'49 第1次ベビーブーム
4.32

'65 ひのえうま 73 第2次ベビーブーム
1.58 2.14

合計特殊出生率
の変化

その1

予測提言

平成大型景気はニッポン衰退の前の一瞬の「あだ花」と心得よ

日本中が過疎地になる
「可成り」の過疎化は、人通りが激しく、目につくのは、道であり、今や、



'90 1.53

竹内 宏



PROFILE

たけうち ひろし 1938年、静岡県生まれ。元大塚製薬取締役。日本経済新聞社に入社。調査部長、専務を経て、1989年より現職。著書に「過疎地の経済学」、「地方の経済学」など。

「1.53」という数字が、日本中を震動させている。高度経済成長期から低下した合計特殊出生率（女性が生涯に産む子供の数）が、今年、ついに1.53まで下がったのだ。空前の平成憂鬱が襲われれば、老人ばかりで子供のいない高齢地のような日本がやってくる。そんな「少産時代」を生きぬくために、企業はどうすればよいのか? 竹内宏氏の提言とともに、各分野別のビジネス戦略をレポートする。

SAPHIRO 7.25.05

育児休暇と育児手当の充実 で出生率低下から国を守れ

ただし、これでは日本の国内は、冒険に書いたような暗くて寂しい21世紀を迎えることになる。だが、それを避ける方法がないわけではない。

たとえば、スウェーデンは出生率がほぼ下がったが、今は2に戻ってきた。イの一番にやったのは、育児休暇と育児手当を出すこと。これは他の先進国でも同じだが、とくに3人目、4人目はたくさん出す。また、子供が8歳になるまで、夫も妻も労働時間は6時間。

このうち最も効いたのは有給で2年という出産休暇だ。極端な話、スウェーデンは2年ごとに子供を産んで育てていれば、永

こんなこと言ったら、バイ
そうですか？って産むヤ
ツいるかよ！ (あ)

すまそ産む機械だし、
ふたもど貯蓄だと言いつつ
世帯主はヤツに、金全さ
るの合いはやー！ (し)

遠に食べていける。これなら就職しないで子供を産む女性が多くなるはずだ。国民全体とすれば、有給で子育てをしている2年分損をすることになる。しかし、その代わり20歳から60歳までとして40年働く人間が一人生まれてくるわけだから、差し引き38年の得である。

要するに、人間は子供をつくるのが最も重要な仕事なのだ。子供が一番の貯蓄であり、今を少しぐらい犠牲にしても、子供を産まなければいけない。日本でも、とくに3人目、4人目をもうけた世帯には、国が月に15万円ぐらい援助しなければ気の毒だ。4人目がある家族はタクシーも2台頼まねばならない。日本は何事も1組4人の前提でできているから、それ以上の家族は大変なのである。

で、一人も産まない夫婦からは、先進国すべてがやつているようにたくさん税金

を取ればいい。彼らの老後は、他人が髪を振り乱し、汗水たらして育てた子供に面倒を見てもらうわけだから、それが平等だと思おう。

ところが、日本はこういう手がなかなか打ちにくい。「産めよ増やせよ」という政策をとるのか」とか「産む、産まないは個人の自由だ」とか「女を単に子供を産む機能でしか見ていない」とか、すぐに文句が噴き出してくる。それだからやりにくいわけだが、他の先進国では人口が増えないと大変だという認識で、みんなやっていることなのである。

とはいえ、日本でも無給ではあるが1年間の育児休暇を法案化する動きが出てきたので、うまくいけば、そのうち2、3年の育児有給休暇が実現するかもしれない。なぜなら、人手不足が深刻になると、賃金を上げるだけでなく休みを多くしないことには人が集まらない。

すると、だんだん女性の地位が上がり、女性は出産休暇がない会社へは動けないという状況になって、出産休暇競争が起きる。そうなれば有給の育児休暇も夢ではない。いや、1・5・7や1・5・3でこれだけ騒ぎ出せば、5年先には可能性大だろう。

衰退した寂しい日本で老後を送るのが嫌なら、もう子供を産むしかないのである。

構成/中村嘉孝

産後は一体どうする
わけ!!
ハード・7-7+sex
で。男の人生がおかし
たら、こわい (あ)

スウェーデンにおけ
る男女平等政策
全体を打たない。
出産休暇取り
合ザルムダ。
税金上げつて、しょう
がたい (あ)

あなたは何度、生殖のための
セックスをしたか?
あなたはいつも「日本のため」
にセックスしているのか?
 (し)

ケララ

ないの
まちの
またい
産女言

何が女性を「一児豪華」主義に 追い込んだのか

今の日本で女性が子供を産もうとする、
さまざまな障壁にぶつかります。まず、経
済の問題です。共働き家庭では、妻が子育
ての期間仕事を休むことはきわめて難しい
し、だからといって仕事を辞めては育児費
も捻出できません。住宅問題もあります。
女性のキャリアアップの面でも、出産は大
きな壁です。育児休暇や休職制度、再雇用
制度が整っていないので、出産後も仕事を
続けるには、仕事がある程度できるようにな
り、プランクがあっても仕事に戻れるよう
なメドがついてからでない、子供をつ
くれません。また、子供の保育施設が不十
分なため、子供を育てながら仕事を続ける
には、女性は大変な負担を強いられます。
こうした問題が起こるのは、そもそも、
高度成長以来の日本の社会環境が、女性に
とって子供を産みにくい方向に進んできた
からです。

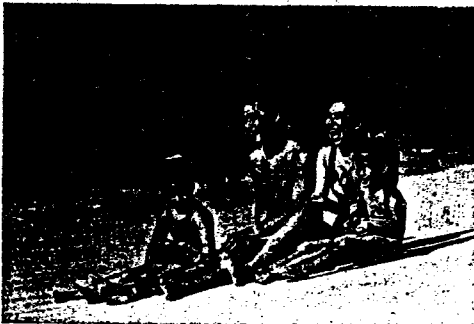
さらに、「モノ・カネ現象」や「Hana
と現象」に代表される時代の意識も、女
性が子供を産みたくない傾向に拍車をか
けています。髪を振り乱して育児に追われ
るのはイヤ、子供よりも自分たち夫婦の優
雅な生活を優先したい。子供を産むならい
い服を着せていい学校に通わせ、自分も美
しくて輝いているママでいたい。そうした風
潮が、お金をかければいい子が育つと考え
る「一児豪華主義」が蔓延する原因にもな

っているのです。

確かに表面だけを見れば、育児は「きつ
い、きかない、暗い、給料がない、化粧の
ノリが悪い」の5K仕事かもしれない。
しかし、子供の笑顔を見て、愛情を注ぎな
がら育てていくことは、きついけれども
この上なく楽しい明るい仕事のほうです。

お金とモノに囲まれて好きなことができる
生活が「ゆとりある生活」と考える人には
そういった育児の豊かさを見るだけのゆと
りがないわけです。

現在の日本の状況を見ていると、減じ
る寸前のローマ帝国に近いものを感ずる。
当時のローマ帝国も出生率の減少が続き、



シェアリングがうまくいけば、女性も遊びに情を出せる。

人々は「パンとサーカス（穀物供給と見
せ物）で民衆を掌握しようとしたローマ帝
政時代の愚民政策」に明け暮れていたとい
います。子育てが面倒だから子供を産まな
い、軍隊など辛い仕事は外国人を雇ってや
らせればいい、という考え方だったのです。
厚生省は、あと5年くらいで出生率が上
向きになると予測していますが、私は女性
の育児環境や社会の価値観が変わらない限
り、減少は続くと思います。しかも、女性
の晩婚化はさらに進み、結婚しない女性も
増えると考えられるので、出生率はそう簡
単には増えないでしょう。

とにかく、出生率が上がらない限り、人
手不足と高齢化社会が進むことは確実なの
だから、私たちは覚悟を決めて、将来の日
本を「明るい高齢化社会」にする努力をし
なければならぬと思います。

明るい高齢化社会をつくっていくための
キーワードとして、私は「シェアリング」
と「ミニニューいらい」の二つを提案して
いきたいと考えています。

まず、「シェアリング」とは、夫は生産す
る人、家事や後始末は妻の仕事、消費や遊
びは若者、という役割分担をやめて、みん
なで生産の部分、消費の部分、後始末の部
分を分かち合う生き方に変えていくこととい
うことです。男は仕事人間から脱皮し、家
事や育児、遊びにも喜びを見いだせる人に

生活ジャーナリスト

山谷えり子



山谷さん自身は30歳を過ぎてから、3人の子供を生んだ。

女は結婚しても家事と育児だけに追われる
のでは、仕事や遊びにも情を出せるよ
うに……すべての人が生産・消費・後始末を
担う、バランスの取れた人生を送れるよう
にしていけばいいのです。

そして、「シェアリング」に必要なこと
が、「ミニニューいらい」なのです。ミニ
ニューが多ければ、各自の希望や都合に合った
ものを選ぶことができます。たとえば、子
供の育児施設ひとつをとってみても、好き
な時間に子供を預けられるフレックスタイ
ム制の幼稚園や、パートタイマー向けに週
3日だけ預かる施設があつていい。企業の
側も、育児休暇や再雇用制度以外に、企業
内託児所や短時間勤務制度など、いろい
ろな制度をつくるべきです。

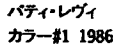
犠牲にするものが大きいからこそ、女性
は出産を前に迷うのです。そうではなく、
選択肢がたくさんあつて、女性も男性も高
齢者も社会の役割をシェアしあえる社会に
なつて初めて、女性が安心して子供を産め
る状況ができてくるのではないでしょう

全体として物分りよさそうにして「産むべき」と
口説くには言ひ足りないが、マシ、という程度。
本音は「やめろ」！ 合成洗剤のCMにもある
生活シ・リスト さん2 マシ！ ①

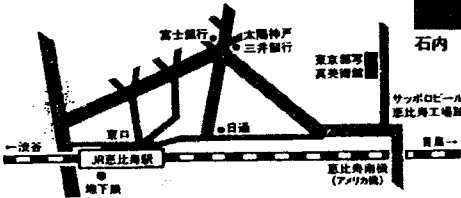
その2

SELF-PORTRAITS OF CONTEMPORARY WOMEN
私という未知へ向かって 現代女性セルフポートレート展
Exploring the Unknown Self

東京都写真美術館



石内 都 シリーズ「1・9・4・7」より 1988-89



東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography
千150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24 Tel.03-3280-0031代
展覧会ご案内[テレフォン・サービス]: 03-3280-0099
交通機関 JR恵比寿駅東口より徒歩5分 お車での来場はご遠慮下さい



ビー・ネトルス
人生のレッスン——
母親日記 1990

トホトホー 良いです。パティ・レグの「花嫁
シリーズ」と スーザン・カエ・グラントの「埋葬」が
つくって おおあめです。

[illegible]

とりとめのないセックスの話 VOL. 9

笹生

父親のことを書くこうと思う。ずっと、忘れたふりをしてきたことだ。

あのこののできごとは、私のなかで、「見てはいけないこと」として、記憶のなかで閉じられていた。でも、もう、思い出してしまったのだ。その記憶が私のなかにこだわりとしてあり続ける限り、私は自分のことを許せはしないのだろう。だから、書くこうと思う。少なくとも言葉に出して、整理しようと思う。

私は、父親を小学校6年生ごろから憎み始めていた。父親は、自分のコンプレックスを家族に暴力をふるうことで解消しようとしていた人で、よく酒を飲み、そして母親を殴っていた。家族のなかで、誰よりも力があり、唯一の稼ぎ手で、だからすべての権力を握っていた父親。自分の気にいらぬこと、許せないことを圧殺する権利があるんだと、豪語していた父親。私は、弟とふるえながら、2階の自分の部屋で、父親と母親が言い争うのを聞きながら、よく泣いていたものだ。

このころから、私はよく父親から暴力を受けた。それは、高校2年生ごろまで続いた。ニュースを見ながら、

「私はこう思う」と意見して、たまたま父親と意見が違うと、「生意氣だ」と言っては罵倒され、それでも曲げないときには叩かれた。母親に向かう暴力が何の正当性も持たないのだと気付きはじめたこのころ、私は「母親の味方をしている」といっては殴られた。

まったく、よく過ごしてきたものと、自分でも思う。でも、こういう「暴力」、直接的な肉体的な暴力は、それほど深く心に傷をつけなかったように思う。

中学生の頃だった。私は父親になるべく近付かないようにし始めていた。できるだけ二人きりにならないようにしていた。なんだか良く分からない不安感で、二人きりになるときはいつもびくびくしていた。

それは、父親の暴力が怖いからではなかった。父親が暴力をふるうTPOは心得ていたから、暴力が怖かったのではないのだ。もっと、性的な匂いのすること。

私はそのころから父親を男として意識していた。そして、そういう私自身を非常に恥じていた。十分肉づきのよい、女の体になりつつあった私は、その「体」を持っていたしまった自分を嫌悪した。女になることは、母親のようには惨めに夫に殴られること、そして、父親の「男」の

目に耐えることを意味した。

日々の生活のなかで、とくに父親との関係のなかで、私は幾度、自分が「女」であるという事実で屈辱感を味わったことだろう。父親の露骨な、私の体に対する興味は、私を深く深く傷つけた。それは暴力以上の暴力だった。そのような言動や行動が向けられるたびに、私は自分に対する否定感を強めていった。そして、あの時。

いまこうして書いていても、思い出しただけで、涙がでてる。いま考えてみれば、あの時、父親が私にしたことは「ベッティング」だった。その時の父親の表情や言葉が、脳裏から消えない。私にとっては、レイプそのものの経験だった。本人の意思に関わらず「性的対象」と見なされることからして、私にとってはレイプだった。

なぜ、ずっと忘れていたのだろう、と思う。たぶん、自分のなかで「共犯意識」が生まれていて、罪悪感をもったからだろう。特に母親に対しての気持ち私の記憶を封じ込めたのかもしれない。あるいは、セックスや性がいやらしいもの・考えてはいけなものと家庭内でされている分だけ、自分自身を許せなかったのかもしれない。いや、どれもそれだけではきれいすぎる。私はあの時、嫌悪しつつ気持ち良かった自分を知っている。決して、脅されたりしたわけではないということも。

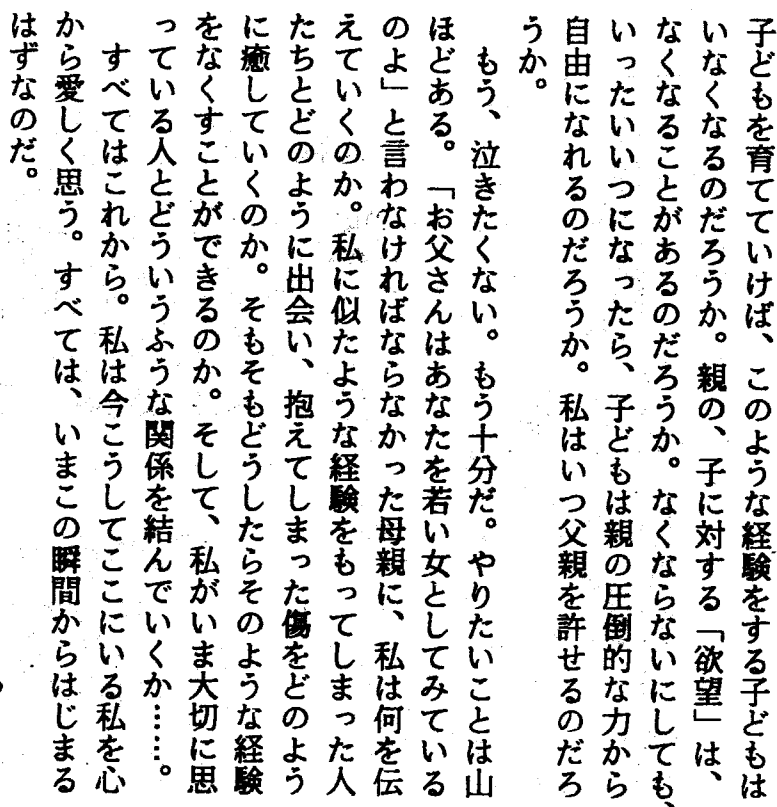
この事実こそが、私を責めた。このことを私はずっと直視できなかった。そのような私自身の在り様が恐かっ

たし、何よりおどましかった。でも、私は今なら、そのような感情をもった私を許すことができるかもしれない。いや、許したい。はやく、呪縛を解きたい。

女がレイプで「感じたか感じないか」が問われることはお定まりのこと。レイプが決して女に「感じ」させたりはしないけれど、仮に（万が一）「感じた」としても、レイプ自体を彼女は告発し、断罪する権利をもっている。本人の意思に反した「性的」な接触は、彼女が感じていようと感じまいと、彼女の心を切りつける。その傷を彼女が甘んじて引き受けるいわれは絶対がない。

父親はたぶん、そんなにすばぬけてどうしようもない、だらしない人間ではないと思う。たぶん、少しだけ、欲望や自分のコンプレックスやらを自制する力がなかったのだ。もう十分大人になった今、父親の寂しさや惨めさが分かってきつつある私にはもう、あの頃の出来事で父親に復讐しようという気はない。そんなことをする余裕があるのなら、私は自分自身の感情の事実を認めてあげたいと思う。

人はつがい、つがって子を産み、家族をつくる。そのなかで、どのくらいの間人間が、私と似たようなことを経験しているのだろうか。そういう経験をしてしまった彼女らや彼らは、どのようにその経験を受け入れ、あるいはつい最近の私のように忘れたふりをして傷を抱え込んでいるのだろうか。自立し、対等な人間同志がつがい、



(飯田橋駅直ぐ・セントラルプラザビル事務棟15階)

5月23日、東京地方裁判所は、住民票の婚外子差別記載を不当とする訴えを全面的に退けました。婚姻家族の保護のためには非嫡出子差別を容認するというものです。この不当性を明らかにするとともに、子どもの人権を犠牲にして守られている婚姻制度とは何かを考えてみたいと思います。是非ご参加ください。

112時半から判決当日の記録をビデオで放映しています
集会は1時丁度開始しますのでお早めにおいでください

主 办 住民票结构管理研究会

張

本國に「明治維新」の
 運動が起つた。その時、
 日本は、

張麗清は、しつぱりとしたおとな
 非難、女校でおこなった仕事に
 おおむね賛成で、その、困難
 といふ。

ねんじに於ては、
 ねんじに於ては、
 ねんじに於ては、

[illegible]

論。したに三三三葉が「女闘士
ひたひたのちから、其國の敵に
当たるゝのだ」と叫びしゝるな
り。歴史に對する大勇氣がある。

1941年11月1日
 1941年11月1日
 1941年11月1日
 1941年11月1日
 1941年11月1日

六年前之英國の莊産之英國

婦の女子學則數種あるは、差
 別が矯正されるまでの母性保護
 は必要となつた。男女雇用機
 會均等法に就き、法律上施され
 る實は保護法は、工資のた
 めの保護は男女に同等の權利が
 あること。

いまだ、我の主張を認めざる者
 数多あり、我の主張を認るる者、漸く

出 産 不 下

2017年12月10日
 2017年12月10日

— ୨୫୯ — ଶ୍ରୀମଦଗୋବିନ୍ଦପୁରାଣଃ ।

「あや女君の御腰は今日腰に入
り、皇子の御腰の外腰には入り
た御腰に御座りしにや。」

わが國の女性が一生に産む子供の数は五年、ついに一・五三一人に落ちた。十七年後こそ人口

お嬢さま、このN6機は、この座
に着いたままお嬢さまの顔を
このようにお嬢さまの顔を
このようにお嬢さまの顔を

下供を屋敷といふといふ女
 性が増増した原因は、男が少
 だ。この、男の女性を増う
 けようといふのが、この原因
 である。男の減少は、女に
 対して、男の減少は、女に
 対して、男の減少は、女に

女性保護命令に定立つて、
 子は女性差別の消滅の原則を注
 視し、「女が同意」と子を産む
 事を拒絶したものと見做す
 べきであると主張する。

それから八十年。日本の女組
はそれを流行に染み始めたとい
ふ気がする。當時は眞實手紙を
披露するやうな大あむたが、
「由縁云々」はその體裁には収
まらなかったといふ。〈井〉

〈#〉

「CHOISIR」は「選択する」という意味のフランス語。

産む・産まないの選択と、金や地位や関係性の代償行為ではない、自分にとって本当にキモチのいいセックスを考えています。

「CHOISIR」 (ショワジール)

VOL. 11

編輯・発行

CHOISIR

郵便振替

発行年月

1991. 7

定 価

200円

年 会 費

2000円（毎月発行）